

NPO 北海道思春期
教育ネットワーク
スキルアップ講座

Gift for you

2月18日(土)

10:40~12:00

頑張る方法を知らない
頑張ります世代
酪農学園大学酪農学部食品化学科
康栄養学栄養学研究室教授
真船 直樹 氏

13:00~14:10

職場復帰の現状と問題点
さっぽろ香雪病院 精神保健部長
橋本 真一 氏



皆様、ご無沙汰しております。お元気でしょうか？
皆様のご意見から、1日日程のスキルアップ講座を開催することになりました。

今回は、思春期から大人までのころに焦点を当てました。渾沌とした世情の中で心の健康を保ち生きていくことは、たやすいことではないのかもしれませんが、そのへんのところを、3名の講師の方にひも解いてもらおうと思います。

どうぞ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

魅力あふれる講師陣

真船 直樹 氏

真船先生は、岩手医科大学医学部医学科卒業、北海道大学大学院医学研究科修了されました。平成14年から現職ですが、酪農学園大学にて管理栄養士の育成に力を込めて関わられている中で、学生相談室室長として「いまどきの若者」を理解する方法を探り続けていらっしゃいます。

今回は、これまで小・中・高教育が育ててきた若者についての「研究報告」と日ごろの若者とのかかわりの中で悟られた自分はどうあるべきかについて伝授していただきます。



橋本 真一 氏

橋本先生は、産業医科大学医学部を卒業後、NTT東日本首都圏健康管理センターにて産業医として多くの職場復帰事例を担当されました。現在も数か所の非常勤産業医をされ、精神科専門の産業医として「いま、職場に戻るときなのか」の復職判定を担当されることもあります。

現在職場にメンタルに関わる理由で休職されていることは珍しいことではなくなりました。専門職の皆様には毎週のようにうつや自殺防止の研修会のご案内が届いていることとおもいますが、今回は一歩踏み込んで肝心の職場復帰について「リワーク」の効果や職場環境は？ご本人は？などの現状をお話していただきます。



14:20~15:30

**職場復帰支援
～臨床心理士の立場から**

北翔大学人間福祉学福祉心理学科 教授
小坂 守孝 氏

小坂 守孝 氏

小坂先生は、臨床心理士としてNTT東日本首都圏健康管理センターにて心理相談、健康管理、メンタルヘルス研修、職場復帰支援、復職審査等に関わってこられました。

現在も北海道臨床心理士会産業領域担当理事として、いろいろな職場のメンタルヘルス研修などに関わっていらっしゃる立場から復職への判断や職場に求められているものについてお話していただきます。昨今の厳しい職場環境の中で、職場におけるメンタルヘルス対策は益々重要になっており、健康に携わる専門職としても身近な問題として学びたいと思います。

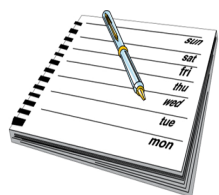
平成24 (2012)
年度より

NPO北海道思春期教育ネットワークは 変わります!



これまで開催に関わる費用は、各セミナーの参加者の皆様から徴収する参加費を財源として運営してまいりましたが、2012 (平成24) 年度より別紙のとおり会員制のもと、セミナー等の運営、ネットワークの構築をしていきたいと考えました。次年度 (平成24年度) からは、趣旨に賛同いただいた方々を中心にネットワークの再構築をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

加藤嘉一氏は27歳。高校を卒業して日本を飛び出すように北京大学に留学し、7年が経ちました。お金もないし、友達もないし、お金もない。必死になって中国語を覚え、英語を学び言葉には不自由しないという。人民日報を貪るように読み、外国語の本を屋外で声を出して読んだという。中国のマスコミに注目され、今や、中国で一番有名な日本とか。「われ日本海の橋とならん」(ダイヤモンド社)を読んで、彼が若くして外国で活躍できるのは、「人間としての根っこ」をしっかりと育てたからだろうと思った。小手先のノウハウではなく、自分で感じ、自分で考え、人と話し合い、意見を戦わせ、自分としての考えを磨き上げるトータルコミュニケーション力を自分のものにしたからだろう。毎日を必死で生きてこそ身につく力だろうと思う。自由主義や民主主義をはき違えて、楽な道に走りがちな教育環境に気付かなかつたら日本は周回遅れのマラソンを走っているようなものになってしまいそうだ。漂流を続けて鈍った感覚に活を入れて若者たちをしっかりと育てることに総力を挙げる時が来ていると思う。逞しい青年の出現に拍手を送りたい。ご一読を。(高須)



NPO北海道思春期教育ネットワーク世話人

顧問：藤井 美穂 (カレスサッポロ時計台記念病院女性総合診療センター長)

高須喜久男 (札幌学院大学地域社会マネジメント研究科客員教授)

代表：杉山 厚子 (北海道公立大学独立法人札幌医科大学保健医療学部准教授)

丸岡 里香 (北翔大学人間福祉学部福祉心理学科准教授)

野口 直美 (北海道旭川東栄高等学校養護教諭)

事務局員：水田 千尋 (看護師)